

平成 30 年度 みんなで地域を考える会 【白山地区連合自治会】

平成 30 年 11 月 24 日 (土) 18:00~19:50

場所：白山自治会館

参加者：51 名 (うち行政関係者 10 名)

【テーマ】

地域の防犯力を高めよう

※地区別計画推進委員会との合同開催

基調提起 山口連合自治会長

今年度も、「みんなで地域を考える会」と地区別推進委員会の合同開催とした。地域の「つながり・たすけあい」は希薄になっており、「コミュニティづくりの大切さを痛感している。その中で、白山地区で力を入れていきたいひとつに「防犯力の向上」がある。どうしたら防犯力の向上が図れるかをワークショップ形式で話し合ってもらいたい。白山地区の「理念・目標」の完成度を高めるために、住民全員の「参加」と「気づき」が必要。活発な意見交換をし、方法と重要性を伝え取組みを進めたい。



Aグループ

- ・安全で安心な街のための防犯灯を増やしてほしい。照明を遮っている街路樹を剪定してほしい。
- ・街を掃除し、きれいにすることは防犯力のアップにつながる。
- ・ひとりひとりが防犯の意識を持つことが大切。
- ・マンションの中で会った人には誰にも挨拶をする。返事がなくても声をかけ続ける。
- ・防犯パトロールで歩くことが認知症予防につながることをPRする。

Bグループ

- ・現在はパトロールしているだけなので、気づいたことを振り返ったメモを残したい。パトロール実施中に気になる場所スマホで撮影したのでデータで共有できるといい。
- ・何が起きたか連合内でも共有されにくい。⇒パトロールをした以上、危険な場所をマップにして知らせることが必要。
- ・防犯の組織を作っても運営はどうするのか。担う人が役員になってしまうのではないか。
- ・白山地区で「防犯の日」を作り意識を広げる取り組みはどうか。また、子どもたちに絵を描いてもらったり、老人会で標語を作ってもらおう。
- ・警察との連携が必要。⇒連合で防犯委員会を組織したら協力が必要になる。
- ・「防犯部」を立ち上げよう。

Cグループ

- ・地域のコミュニケーションを高めることは、すべてに通じる。
- ・顔をあわせる大切さを伝えたい。
- ・回覧板をドアにかけてほしい、ポストに入れてほしいという人も多く、顔を見て渡すことができない状況がある。
- ・各委員会の話し合いを全体で行うのはどうか。

- ・「防犯」の組織を作り、参加を促していこう。
- ・一般の住民を巻き込むために、ごみ拾いから防犯へつなげたい。
- ・健民祭など地域のイベントに参加する人に「防犯活動をやるよ」と直接の声かけをする。そのことで白山の行事は「防犯」につながっているという意識を広めていくのはどうか。

Dグループ

- ・パトロールを実施して気がついたことをまとめ、行政に報告するといいいのではないかと。(例：樹木で街灯が暗い)
- ・最近の連合のパトロールに参加した。6人と少なかったが楽しくできた。
- ・公園、トンネルに夜間、子どもたちがたむろしている。うるさがられても声をかけるべき。近所の目、大人の目があると良い。
- ・マンションは管理組合が防犯カメラの管理ができるが、白山緑では管理の仕方が問題となった。

Eグループ

- ・マンション群のパトロールに参加した。大きな木が危ないと感じた。木を切る工夫が必要。
- ・防犯について日頃、思うことを気軽に話し合える場があるとよい。
- ・地域目標（防犯）を達成するためには話し合う組織が必要。
- ・日頃から近所で挨拶や会話を重ねることがコミュニティを広げることにつながる。
- ・青少年を地域で見守り、育てていく目も必要だと思う。
- ・若い世代との意識の差を感じるが若い人と関わる場がなく、つながれない。コミュニティの場が必要。
- ・情報が子育て世代とつながるとよい。子どもの視線で地域に危険な場があることを聞いている。
- ・各自治会から「防犯委員」を選出し、委員会を作ってはどうか。収集した意見から対策を生み出す機会となっている。

質疑応答

- パトロールで気づいた点が、責任をもって担当部署に伝わっているのかわからない。
- 街路樹の剪定は依頼しても時間がかかる。ボランティアが剪定して良いか。土木事務所に聞いてほしい。
⇒ “猫の手”の小坂さんが確認することになった。
- 防犯の組織をどのように作っていくのかを知りたい。
⇒ 3人の発起人を防犯の推進委員のコアメンバーとして認めてもらえれば案を作成し、連合の総会で提案したいが賛同してもらえるか。(一同承認)

■まとめ（山口会長）■

今日は、良い意見がたくさんあった。すぐには解決ができなくとも気づきを大切にしてほしい。また、出た意見を動かしていくのは誰なのか、みんなが当事者意識を持って取り組んでほしい。みんなで助け合い、作り上げていこう。



防犯について活発に話し合ったワークショップの様子

発言内容は紙面の都合上、趣旨を踏まえて一部編集を行っています。